



飢肥中だより

発行日 R2.9.25
 発行元 日南市立
 飢肥中学校
 文責：教頭
 前田 幸三

9月18日(金)に泰平踊本町組保存会(益田一重会長)より、県指定無形民俗文化財「泰平踊」で使用する侍の衣装10着を寄贈していただきました。衣装は着物のほか、刀や編みがさ、草履、印籠、肌着など一式約14万と高額な物でした。同保存会が寄付を呼び掛けていただき、多くの方々の協力で賄うことができたそうです。あらためて、飢肥地区や卒業生の方々の御協力に心より感謝いたします。なお、今年度の体育大会で初披露されますのでご覧ください。9月24日付の宮崎日日新聞にも掲載されました。



第63回英語暗唱・弁論大会、第15回南那珂地区中学校秋季体育大会主な結果(入賞者などの紹介です。陸上は26日に実施されます。)

【英語暗唱・弁論大会】(9月23日付宮崎日日新聞に掲載されました)

「暗唱の部」日高香蓮さん(優秀賞) 「弁論の部」楠原瑞歩さん(優秀賞)
 暗唱の部に1年生の日高桜志くんも出場しました。綺麗な発音で立派なスピーチでした。

【南那珂地区中学校秋季体育大会】

- ・女子バスケット部(優勝、県大会出場)
- ・男子バスケット部(予選敗退)
- ・野球部(準優勝、県大会出場)
- ・女子バレー部(予選敗退)
- ・男子ソフトテニス部(団体戦; 3位、個人戦予選敗退)
- ・女子ソフトテニス部(団体戦; 3位、個人戦; 北園わかばさん・作本今日子さんペアベスト8、県大会出場です)
- ・剣道部(男子団体3位、男子個人戦2位; 奥野正幸くん、井上高虎くん、西村遥斗くんも県大会出場です)
- (女子個人戦1位; 高橋星稀さん、女子個人戦2位; 河野エリサさん、県大会出場です)
- ・柔道部(松根颯汰くん、宮川夕夏さんは県大会出場です)

萩生田光一文部科学大臣からの保護者や地域の皆様へのメッセージです

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ解明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多いと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子どもたちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていくことができるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれまして科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思います。

